



日本語の美しさ



国籍	中国
職種	内装仕上げ施工 株式会社 アサヒレース
実習実施者	
監理団体	北陸対外事業 協同組合

曾 维莉
ZENG WEILI

日本で2年間生活してきて、日本語の肯定と否定の表現方式の独特さを深く感じました。この表現方式は言語環境表情、身振りと言語環境表情、身振りと言語環境表情と緊密に関連しています。次に、自分の日本での買い物時の経験を通して、詳細に説明します。

ある日、私は日本人の友達と服を買いに行った時、「これどうですか?」と聞くと、友達は「いいよ」と答えました、別の服でまた同じ質問をすると、答えは「いいんじゃない? いいね。」だけです。本当にいいのはどれですか? 結局、私が一番いい服を買いました。その時、私は中国で友達が日本人は嘘が上手です、日本に意見を聞くとほとんどのいい答えしか返ってきませんよ、でもこれを100%信じないでね。といったことを思いました、文法や単語は本やネットで検索したらすぐわかりますが、日本人との会話になると途端に難しくなります、どういう意味なのか、どうすればいいのかがよくわからず、しばしば誤解をしてしまうこともありましたが、日本に来たばかりの頃は、このように日本語のニュアンスが理解できませんでした、しばらくすると表現や言葉の使い方などが分かるようになりました。

日本人は「はいや、いいえ」率直な気持ちははっきり言いません、それはなぜなのでしょう?

日本にはお互い尊重するという決まりのようなものがある気がします。相手の気持ちを優先する、あまり率直に物事を言わないようです。相手を傷つけないよう、言葉を選んで話すので、結果、このように曖昧な表現になるということが分かりました、世界中のどの言葉にも特徴があります、例えば、インドネシア語は時間を表す文法がありません、フランス語には物によって性別があります、そして、日本語の特徴はこの曖昧さ及びニュアンスです。

また、友達と服を買いに行った時、私は本当にいいと思っていたのに、いえ良くなですとはっきり言われたら、私は気分が悪くなるがもしれませんが、これらの曖昧さは日本語にしかないものです。

日本語は曖昧さがあるからこそ、誘いや依頼など断っても相手を傷つけません、これこそ日本語の美しさです。

要するに、日本でのこの2年間で、私は肯定と否定の表現方式に対するより深い理解を得ました。この独特な表現方式は、日本文化のやさしさ、婉曲さ、含蓄さに反映されています。学び続けて適応することで、私たちは日本人とコミュニケーションをよりよくし、日本のショッピング体験を楽しむことができます。

最後に、日本人は嘘が上手なのではなく、相手大切にすることが上手なだと思います。